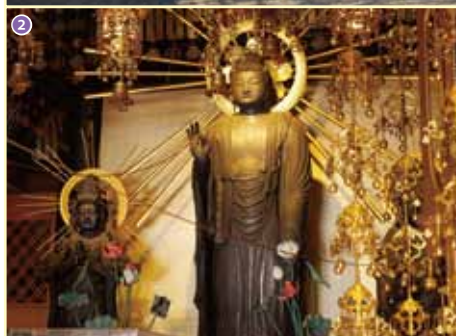




富光寺



① 富光寺は千年以上の歴史を持ち、かつては歴史上の著名人も多く訪れた。② 淀川区で最古最大の仏像と伝えられている本尊の阿弥陀如来。③ 住職が大切に育てている三鉗の松。手作りのお守りを頂くこともできる。

訪れた方の心の拠り所に…

香具波志神社を後にして西へ進むと、摂津国八十八箇所霊場のひとつである富光寺が見えてくる。ここもまた孝徳天皇によって「富光寺」と名づけられた。本尊の阿弥陀如来は大きさが約5メートルあり、区内で最大かつ最古の仏像と伝えられている。鎌倉幕府第5代執権北条時頼が大きな鐘を寄進した際に、境内の梅の花を見て「吹くは憂し 花をば避けよ 春の風」と句を詠んだという話も残っており、富光寺にも歴史上の著名人が多く訪れていたことが分かる。

住職の松家さんは富光寺を地域の方々にも身近に感じてもらえるようにと、毎日午後5時15分から誰でも参加できる夕勤行を開

催したり、縁起物である三鉗の松の落ち葉を使用して、はすの形のお守りを手作りし、希望者へ授けたりと、様々なことに取り組んでいる。

「開かれたお寺にしていきたいですね。訪れた方の心の拠り所になれば」と話す松家さん。「富光寺を訪れたことがない方も、初詣や節分など行事の折に、ぜひ足を運んでいただけたらうれしいですね」と微笑んでいた。

この加島の地で人々の暮らしを見守り続けてきた香具波志神社と富光寺。一度訪れてみて、積み重ねてきた歴史に触れてみてはいかがでしょうか。



▲境内には季節ごとに様々な花が咲き、訪れる人々を温かく出迎える。



▲「開かれたお寺にしていきたい」と話す住職の松家さん。

香具波志神社 (住所：加島4丁目4-20) と 富光寺 (住所：加島4丁目10-8)

香具波志神社は天徳3年(959年)創建の古い歴史を持つ神社です。境内には史跡がいくつも残されており、歴史を感じることが出来ます。節分祭や夏大祭、秋大祭など季節ごとに多様なお祭りが催されます。

富光寺は大化年間のはじめ(645年)頃に建てられ、本尊の阿弥陀如来は淀川区で最古最大の仏像と伝えられています。境内には三鉗の松をはじめとする緑があふれ、梅や桜、藤の花など四季折々の花が咲き、訪れる人の心を癒してくれます。

